

出場チーム 募集要項

＝高校生のための国際協力アクションプラン応援プログラムとは＝

本プログラムは、国際協力活動の推進や多文化共生社会の実現を目指し、**具体的に行動する高校生のアクション**を応援します！あなたが持続可能な社会の未来図を描くために、以下2つのコースを用意しました。

＝2つのコース＝		目 的	内 容	詳細は【別紙1】を 参照ください。	ファイナリスト (第一次審査通過)	活動への 賞・助成
アイデア探究 コース	社会課題は見つけ、解決のためのアイデアを発表し、他の高校生や NGO と意見交換や交流をするチームはこちら！		・ブラッシュアップのための発表会(11/6) ・ワンフェスユース当日アクションプラン発表会(12/19)		10 チーム (予定)	アイデアへの アワード
課題発見・実践 コース	アイデアを具体的なアクションに移すための活動費をかけてコンペに出場するチームはこちら！		・ブラッシュアップのための発表会(11/6) ・アクションプランコンペティション大会(12/5) ・ワンフェスユース当日アクションプラン発表会(12/19)		7 チーム (予定)	アクション への活動費

グローバル化が進む今日、私たちの生活は、国境を超えて多くの人々の生活や環境にも影響を及ぼし合っています。今こそ、ひとり一人が 2030 年の SDGs 達成に向けてアクションにつなげていきましょう！

＝ 開催概要 ＝

高校生の発想による高校生のアクションプラン、求む！

開催目的	国際協力や多文化共生に失敗を恐れずに、 実際に取り組む高校生を応援すること
参加対象	社会課題の解決に向けて、自分たちのアイデアを行動に移したい 全国の高校生チーム
テーマについて	・国際協力、多文化共生の他、SDGs の視点にもとづいた地域独自の課題も対象とします。また取り組みや活動内容については、オンライン空間でおこなわれるものも可能です。 ・取り組みや活動の規模は問いません。社会課題解決のため、具体的なアクションに取り組もうとする姿勢を応援します。

貧困、差別、ジェンダー、災害、環境、気候、、私たちが住む世界には、さまざまな課題が多く存在し、そのなかで安全に生活ができず、また人権が脅かされている人も多くいます。私たちの社会や環境の問題を、SDGs の視点からとらえなおし、その解決を考え、アクションプランを作成して発表しませんか？

＝ 参加要件 ＝

アクションプランを発表し、同世代や NGO たちと共有し仲間をつくろう！

参加単位	2～6 名により結成された高校生チーム（他校の生徒との合同チームでも応募できます。）
ファイナリスト (第一次審査通過)	アイデア探究コース 10 チーム(予定)／課題発見・解決コース 7 チーム(予定) ＊ファイナリストは「書類」と「3 分間動画プレゼン」の審査によって決定します。
発表方法・場所	ワンフェスユース公式ホームページ内にオンライン特設会場を設け、Zoom オンラインで画面共有をしながら発表を行います。発表資料が手書きポスターの場合は写真にとって画像にしてください。一枚に収める必要はありませんので数枚の画像をご用意いただいても大丈夫です。
注意事項	各コースにおいて、1 校あたりの申請上限数は 5 チームまでとさせていただきます。

- ・地球規模の課題の解決へ向けて私たちが具体的にできることは何か。
- ・世界や地域の問題をどのように自分たちの問題として考えれば、解決できるか。

高校生ならではの感性でアクションプランをつくり、あなたが考える「SDG18」を見つけよう！

SDGs は 1～17 が互いに関係し合う目標です。本プログラムの
ゴール 18 とは、自分たちだけの「アクションプラン」を指しています。

= 審査項目 =

(各項目 5 点, 25 点満点)

審査員が評価するポイント

- ①着眼点 ②独創性 ③ポスター/スライドの完成度
④テーマの深堀力(分析力) ⑤実現可能性

高校生らしい豊かな発想や着眼点を持ち合わせているか。ポスターやスライドの内容や構成が練られたものであるか。課題を丁寧に分析して、解決に向けた実現できそうなアクションプランを提示できているか。チームワークやプレゼンの態度はどうか。

= 第一次審査について =

応募書類を提出する際に、「3 分間プレゼン動画」を一緒に提出していただきます。書類とプレゼン動画を審査員が、審査項目に沿って審査します。動画プレゼンでは、チームワークや参加姿勢についても加味します。

= 応募方法とスケジュール =

(1) 10 月 14 日(木) 応募書類提出締切日 ※時間厳守 13:00

①<http://owf-youth.com/>からエントリーシート(下書き用)をダウンロード

②上記サイトから応募フォームにアクセスし、必要事項記入の上、
応募書類一式(プレゼン動画を含む)をアップロードして応募してください。

※上記サイトで、予算書の書き方や、申請内容の事例を提示しています。

(詳細な提出方法は 2021 年 8 月上旬にワンフェスユース公式ホームページに掲載します)

(2) 10 月 26 日(火) 第一次類審査の結果発表(上記公式ホームページ上で発表します)

(3) 11 月 6 日(土) ブラッシュアップのための発表会

参加高校生や NGO との意見交換や交流を通してプランのブラッシュアップをはかります。

(4) 12 月 5 日(日) 高校生のための国際協力アクションプランコンペティション大会

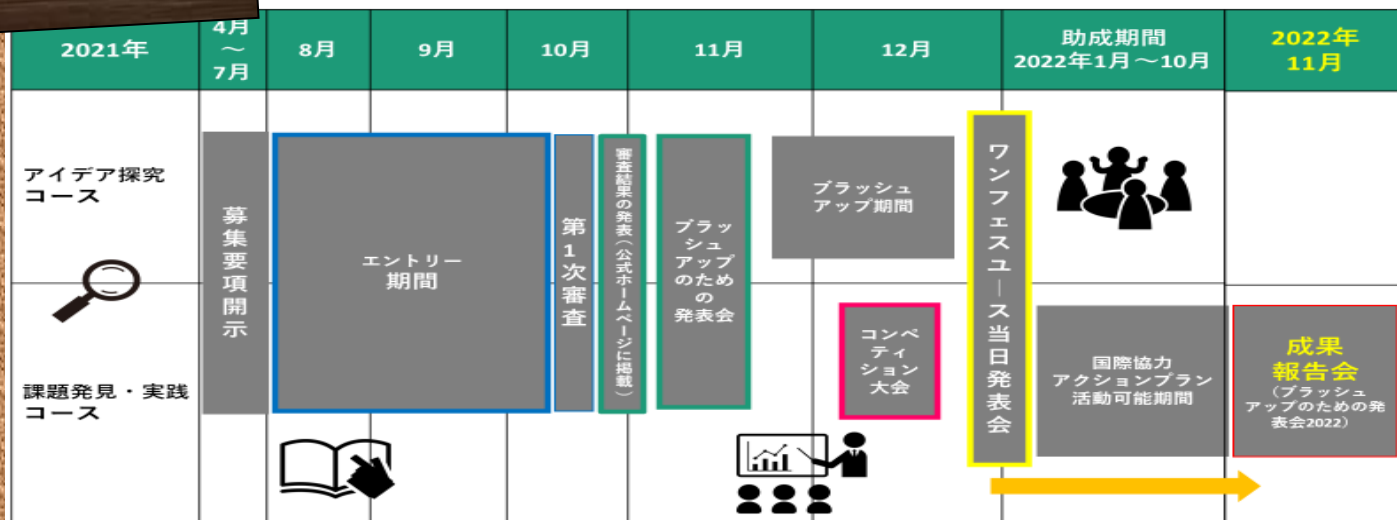
実践コースのファイナリストの大会ですが、アイデア探求コースの皆さんも参加できます

(5) 12 月 19 日(日) 高校生のための国際協力アクションプラン発表会

両コースのファイナリスト全員は必ず参加してください



= プログラムの流れ =



応募書類提出／お問合せ先

特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会
ワン・ワールド・フェスティバル for Youth
高校生のための国際協力アクションプラン
(担当: 佐野・栗田)
〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 4 階
(火一金 13:00-18:00)
MAIL: youth_expo@kansaingo.net
WEB: <https://owf-youth.com/>



ワンフェスユースホームページはこちら！

発表・・・高校生のための国際協力アクション発表交流会(12/19 ワンフェスユース当日)

発表時間の目安 5 分発表、参加者との意見交換 5 分

発表の形式 Zoom オンライン/画面共有機能やブレイクアウトルーム機能を活用します

*11 月 6 日（土）は課題発見・実践コースとともに、ブラッシュアップのためのオンライン発表会があります。



■課題発見・実践コース（アクションプランを実践するための活動費を獲得し、すぐに行動に移したいチーム向け）

発表①・・・高校生のための国際協力アクションコンペティション大会(12/5 開催)

発表②・・・高校生のための国際協力アクション発表交流会(12/19 ワンフェスユース当日)

発表時間の目安 5 分発表、コメンテーターとの質疑応答 10 分程度

発表の形式 Zoom オンライン 画面共有機能を活用して発表をします

*11 月 6 日（土）はアイデア探究コースとともに、ブラッシュアップのためのオンライン発表会があります。

助成対象期間 2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの 1 年間の活動とします。

※現役 3 年生について：①卒業までに実施する必要はありませんが、5 月末日までに実施ください。

②エントリーシートには、担当教員名と保護者名の両方を記載ください。

助成対象経費 会場費・会議費・・・・・・講演会、ワークショップ、イベントの開催会場費、設備費

旅費交通費・・・・・・移動にかかる交通費

通信運搬費・・・・・・広報チラシやイベント案内の郵送代

印刷製本費・・・・・・広報チラシ、リーフレット、制作物などの印刷代

諸謝金（謝礼金）・・・・・・講師やファシリテーターへの謝礼

物品購入費・・・・・・途上国の製品などの購入費用

（個人が使用する目的での購入は認めません）

その他・・・・・・上記以外の経費 コピー代など

留意事項 ・活動費の使い方、報告書の作成については、関西 NGO 協議会がサポートします。

・活動費の使途は、必ず事務局である関西 NGO 協議会に報告書を提出し、

次年度の 11 月のブラッシュアップ発表会で活動成果を報告していただきます。

ただし、新 3 年生は、進路選択の時期であることを考慮し、事前に撮影した動画による報告も受け付けます。



募集コース	【アイデア探究コース】	【課題発見・実践コース】
参加単位	2～6 名により結成された高校生チーム	
第一次審査通過 以後の流れ	①書類・動画選考を通過 ②11月6日（土）ブラッシュアップのための発表会 ③12月19日（日）ワンフェスユース当日 高校生のための国際協力アクションプラン発表会	① 書類・動画選考を通過 ② 11月6日（土）ブラッシュアップのための発表会 ③ 12月5日（日）高校生のための国際協力アクションプラン コンペティション大会 ④12月19日（日）ワンフェスユース当日 高校生のための国際協力アクションプラン発表会
ファイナリスト 第一次予選通過チーム	10チーム（予定）	7チーム（予定）
賞・活動費	ファイナリスト全員にアワードを授与	採択団体に活動費を授与（3 チームを予定）
発表・活動例	「捨てられる食べ物と子どもたちのいのち」 「私達が男女平等のためにしたい10のこと」 「Stop Increasing Micro Plastics」	・学内における多言語案内ニーズ調査とステッカーの制作活動 ・ローカルSDGsかるた「天麩羅がカルタでアゲル 識字率」 ・多言語防災タオルの生産と外国にルーツのある方への配布
費用例		・ニーズ調査費・図書費・交通費 ・ステッカー印刷費・物資運搬費など
活動費		30,000円まで
成果報告		次年度のブラッシュアップのための発表会で活動と決算報告をして もらいます。報告では、実践を通じての失敗や成果、そこから得た ものを後輩と共有してください。

各コースにおいて、1 校の応募申請上限チーム数は 5 チームまでです。校内で応募多数の場合は校内選考のうえ、5 チーム
 以内でご応募ください。（ただし、他校の生徒との合同チームでの応募は、その限りではありません。）